

人権尊重

🌐 詳細は、サステナビリティサイトをご参照ください。

https://www.jsr.co.jp/sustainability/society/human_rights.shtml

基本的な考え方

JSRグループは、「世界人権宣言」、国連「グローバル・コンパクト」や国連「ビジネスと人権に関する指導原則」などの国際規範を重要なものと認識し、その考え方に賛同し、人権を尊重します。そして、すべての事業活動において、人権尊重の責任を果たすことが求められていることを理解しています。

推進体制と人権方針の制定

企業倫理委員会の活動方針の一つとして、人権の尊重を推進しています。企業倫理委員会にて推進計画を策定し実行、進捗状況を確認しています。

国連「ビジネスと人権に関する指導原則」で規定されている通り、企業には人権尊重を率先して実践していく社会的責任があります。その責任を果たすためには、人権尊重を推進するうえでの礎となる指針を設け、グループ全体で共有、理解することが必要です。JSRは、グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパンのヒューマンライツ・デュー・ディリジェンス分科会に参画し、その活動を通じて得られた知見を基に、JSRグループとしてあるべき人権方針の検討を進めてきました。2020年10月に日本政府が策定した「国別行動計画」の趣旨も踏まえ、国内外の関係部門やグループ企業によるレビューを経て、2021年9月に「JSRグループ人権方針」を制定しました。これを社外に発信す

るとともに、本方針をグループ従業員一人一人に浸透させるため、社内イントラネットでの周知や社内報への特集記事の掲載を行いました。今後、人権デュー・ディリジェンスの仕組みの導入やサプライチェーンにおける効果的な取り組みの検討も進めていきます。

サプライチェーンにおける人権の尊重

JSRグループは、自社グループ内に留まらず、サプライチェーン全体で人権尊重の取り組みを推進することが重要であると考えています。これを実践するために、調達取引先向けのアンケート調査項目を2017年に改訂するほか、2018年に制定した「JSRグループCSR調達方針」においても、人権尊重に関連する項目を盛り込んでいます。

また、「JSRグループ人権方針」において、サプライチェーン上の取引先に対しても、本方針を支持し、同様の方針を採用するように継続して働き掛けを行う旨を明記しました。

上記の両方針に記載したJSRグループの考え方は、国際社会が企業に求めていることを代弁したものであると認識しています。JSRグループは、こうした考え方を取引先とも共有したいと考え、グループの主要なサプライヤーに両方針を配布し、方針の趣旨に賛同する旨を「賛同書」として回収する取り組みにも2021年度に着手しました。(P.40「サプライチェーンマネジメント」も参照ください)

今後も、サプライチェーン上の取引先との連携を強化

し、人権尊重の取り組みを深化させるべく、必要な対応を行ってまいります。

グローバルなイニシアティブへの参画

JSRグループは国連が提唱する「グローバル・コンパクト」に賛同し署名しています。そして、グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパンが提供する分科会活動にも積極的に参画しています。同団体のヒューマンライツ・デュー・ディリジェンス分科会への参画やワークショップの受講、グループワーク活動などを通じて得られた知見は、すでに「JSRグループ人権方針」として結実しています。今後はグループ全体に方針の理解を促し、浸透させていくことが必要だと考え、2021年度には、新たに人権教育分科会に参画することにしました。この分科会で得られた知見を、適切な教育や研修の在り方の検討に活用してまいります。

国連「グローバル・コンパクト」への参加

JSRグループは2009年4月、国連が提唱する「グローバル・コンパクト」に署名しました。グローバルに事業活動する企業として、「グローバル・コンパクト」の10原則が謳う人権・労働・環境・腐敗防止へのより一層の配慮が必要と認識し、より積極的に企業の社会的責任を果たしてまいります。

代表取締役CEO エリック ジョンソン

